

【資料 2】令和7年度の協議会の活動について

- 2-1. 令和7年度協議会の活動方針（案）
- 2-2. 協議会・部会等の組織
- 2-3. テーマ活動、WG活動案
- 2-4. スケジュール（案）

1. 令和7年度協議会の活動計画

①各主体が進める事業の内容確認／進捗確認

- ✓ 各主体が今年度予定している事業の進め方等についての確認と意見交換を行う。8月（第1回）
- ✓ 部会の構成及び今年度のテーマ活動（案）について確認と意見交換を行う。8月（第1回）
- ✓ 各業務の進捗等の評価・確認を行う（個別＋指標）。2月（第2回）

②部会・WGにおけるテーマ別活動の推進

- ✓ 協議会で設置した部会・WGにおいて、テーマごとの活動を行う。9月～1月

③首里杜地区のまちづくりや協議会に関する情報発信

- ✓ 構成員のネットワークを生かした情報発信を行う。

2. 協議会・部会等の組織

組織体制における課題

- ・参加の負担を軽減（会議の数を集約する、参加して楽しい会議とするなど）
- ・研究機関、多様な事業者も参加又は連携しやすい仕組み
- ・R9以降の体制

3. 部会等活動案

R6年度第2回部会では、「**テーマ活動成果の生かし方**」、「**地域事業者との連携**」を検討した。

また、R6年度に新たに設けた持続可能な観光ワーキンググループでは、持続可能な観光には何が必要かという視点から首里杜地区の状況をふりかえり、

- ・「**規範（ルール）づくり**」を進める必要性
- ・「**指標の設定のあり方**」について引き続き検討を要する

ことを確認した。

これらをふまえ、R7年度の活動を検討する。

①テーマ活動成果を受けた今後の取り組みの考え方

R6のテーマ活動での提案等を受けて、R7年度のテーマ活動に取り上げる事項、担当部局で進める事項などを整理する。

| | R6テーマ活動成果（提案） | R7年度以降の取り組みの考え方 | 調整者 |
|--------------|---|---|----------------------------------|
| 住生活と観光のゾーニング | 歩道のない道路への車両進入抑制、通り抜け抑制 | 生活道路対策を継続する（那覇市スクールゾーン連絡協議会からの要望の対策を共有） 勉強会（※R7年度部会等の活動案へ） 本資料7頁 | 那覇市道路管理課 |
| | 観光バスの路上駐車等の防止 | バス協会や観光事業者と調整を継続 勉強会（※R7年度部会等の活動案へ） | 沖縄県首里城復興課 |
| | 歩いて訪れる人は原則どこを歩いてもよいが、濃淡はある。見どころの多い道や知ってほしいものに緩やかに誘導する。（「推奨ルート設定」「歴史の道環境整備」「ストーリーの設定」など） | ストーリーづくりや環境整備は着手できるものから進めていく（共通：まちま-い/観光協会との連携、資源整備する教育委員会との連携、交通事業者、首里城公園管理者との連携など） テストケース試行（※R7年度部会等の活動案へ） | 地域 那覇市観光課 （R7年度よりテストケース試行） |

| ルート・ストーリーの例 | イメージ |
|--|---|
| 儀保駅発着の周遊ルート／中城御殿東側の歴史の道整備 | 歴史の道整備ほか |
| 琉球菓子めぐり | 菓子店等との連携 |
| 琉球庭園めぐり | 市文化財課や所有者との連携 |
| 水と泡盛のまち三箇見学ルート | 酒造所等との連携 |
| 王の道（金城町石畳）のストーリー発信＋石畳下入口での交通機能（観光バス一時乗降場整備等） | 庭園所有者の協力 乗降スポット整備と運用にかかる部局および交通事業者との連携など |

| | | テーマ活動成果（提案） | R7年度以降の取組みの考え方 | 調整者 |
|-----------------|---|--|---|----------------------------------|
| 人を誘導しやすくする環境づくり | 誘導サイン | 誘導サイン設置・里程表示追加 | 龍潭通りの誘導サイン（首里城公園へ）は事業化中。里程標は記載の予定 無電柱化地上機器のラッピング調整 | 沖縄県南部土木事務所 |
| | | 通りの名前 | ※目的や狙う効果、対応方法を再考 | |
| | | サイン設置 行き止まり道路の表示 | 市と地域で協議 | 那覇市道路建設課、 道路管理課、観光課、 都市計画課 |
| | | 町名表示等にはデザイン化 | ※目的や狙う効果、対応方法を再考 | |
| | | 駅での周遊案内マップ掲示または配布 | ・交通事業者との調整 ・マップ作成 | 那覇市観光課 |
| | 周遊コンテンツ | コンテンツとリンクしたサイン表示の充実。良好なサインデザイン（旗頭灯籠の活用などを含む） | ・QRコードリンク先の管理など ・各種テーマ性のあるマップや誘導案内ツールの作成 ・関係者協働でのデザイン | 那覇市観光課、文化財課 |
| | | PR（ガイドブック掲載、web発信） | | 観光事業者 |
| 観光開発 | 地域貢献型のボランティア等の地域貢献を組み込んだ観光を展開（井泉清掃ヘルプ、etc.） | 観光事業者（ツアー造成、実施）と地域組織（ニーズ提示・受け入れ）の連携 | 観光事業者 地域 | |

②地域事業者との連携に向けた今後の取組みの考え方

【地域事業者が持続可能な観光まちづくりに果たす役割】

- 経済面で、観光客の落とすお金を地域経済として回す（地域の活性化）
- 観光客にとって、歩いてまわることや周遊の動機・魅力づけとなる。結果としての満足度を生み出す
- サステナブルツーリズム、レスポンスブルツーリズムに沿った首里ブランドを形成
- 観光客の窓口となり、地域とのつなぎ役となる。
- 地域事業者の横の連携により、意識の低い事業者が入り込むのを防止し、首里ブランドを守ること

【地域事業者の現状】

- 地域内の店舗等が連携して朝市などを開催。まちづくりにつながる期待
- 事業者のまちへの愛着、意識は高いが、個々でできることは限られる
- 活動強化や行政の支援を受けるには組織化が望まれる

【地域事業者との連携に向けて、地域や行政が協力できそうなこと】

- 事業者が組織化する際のサポート
- 催事等の開催協力
- 首里ブランドを守り、オーバーツーリズムの害を防止するための規範づくりと共有
- 自治会・住民等からの空家情報等の提供
- 周遊促進における協力体制づくり

▶首里杜まちづくり推進協議会としての対応（案）

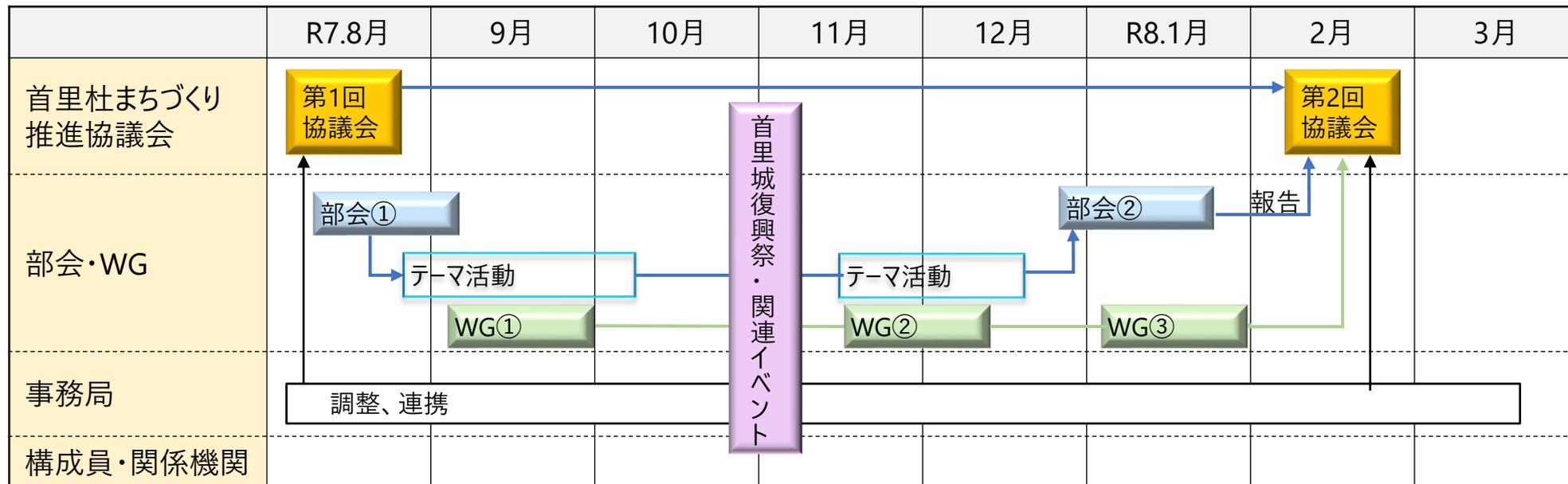
- 協議会として：規範づくり
- 協議会として：会員構成・事業者等も参加しやすい体制の検討
- 構成員それぞれ（県、市）：組織化や地域活性化につながる活動を、必要な場面でサポート
- 構成員それぞれ（地域）：情報共有・発信

③R7年度の部会等の活動案

R7年度の部会等活動（案）

| | 活動案 | 内容 | ゴールのイメージ | メンバー候補 |
|------------|-----------------------------|--|--|-------------------------------------|
| 暮らし・生活環境部会 | テーマ活動 「win-winの首里めぐり開発」 | 地域事業者や関係者とともに、歩いて楽しめる地域経済に貢献するルート・ストーリーの検討 | テストケース1件を構築（琉球菓子を想定）し、本格実施にむけた体制や課題を確認 | 地域有志 地域事業者 市観光課 学生等 |
| | テーマ活動 「観光交通受け入れ環境整備を考える」 | 危険のもととなるバス路上駐車、観光車両のうろつき等への対策方法を検討（勉強会） | 事象とその要因、対策方法、実施課題等について、住民と行政で認識を共有し、具体策を探る | 地域住民 県首里城復興課 市都市計画課、 道路管理課 |
| 持続可能な観光WG | 首里杜地区のルールづくり | 来訪者、事業者に事前に伝えるルールを検討 | ルール案の作成 | 地域有志 市観光課 県観光振興課 |
| | 指標の作成 | 指標（案）が適切に機能するかを継続検討し選定 | 指標の選定およびその共有 | 学識者 |

4. 令和7年度スケジュール（案）



| No | 開催月 | 会議名 | 検討事項（予定） |
|----|-------------|--------------|---|
| 1 | R7.8月頃 | 第1回協議会 | <ul style="list-style-type: none"> 部会・WGの構成及び今年度のテーマ活動（案）について確認 今年度の各主体（沖縄県・那覇市・地域）の取り組み計画の報告 |
| 2 | R7.8～9月 | 部会① | <ul style="list-style-type: none"> テーマ活動実施計画・開催準備 |
| 3 | R7.9～12月 | テーマ活動実施 | <ul style="list-style-type: none"> 各エリアで実施 |
| 4 | R7.12～R8.1月 | 部会② | <ul style="list-style-type: none"> テーマ活動成果と次期活動への課題の確認 |
| 5 | R7.9～R8.1月 | 持続可能な観光WG①～③ | <ul style="list-style-type: none"> 持続可能な観光にむけたルール（規範）づくり |
| 4 | R8.2～3月 | 第2回協議会 | <ul style="list-style-type: none"> ロードマップ及び事業シートによる進捗確認 各部会・WG・構成員からの活動報告 次年度活動内容の検討 |